尚和会々報

発行所
大阪府立
桜塚高校尚和会
発行責任者　深田久子
編集責任者　永井敏輝

三十七年度尚和会役員決る

会長には深田さん

第十回本部総会が、例年の通り母校講堂で五月の第三日曜日に開かれた。トラクションにダンスパーティがあった為か、いつもと顔ぶれが変っていたのはたしかである。三百余名ようすまった中で、まず校長挨拶、塚田会長の前年度の活動報告、前期会計決算報告と本年度予算案を上木 会計より 発表。出席者の承認をえて後、新役員、会長深田久子（高女二期）副会長小田安広（高三期）上田孝彦（定三期）書記斎藤一雄（高九期）大石美智雄（定八期）会計山木清治（定四期）野曽原宏道（高八期）が承認された。後日、書記の斎藤さんが事情の為どうしても、できないとのことで藤本美代子（高十三期）に変ることとなった。

内科・小児科・呼吸器科
深田内科
阪急宝塚線三国駅下車
三国新道通
電話㊀〇〇四八番

会長挨拶

学生時代の純粋な気持を思いだし

高女二期　深田久子

会員の皆様お元気ですか。今年母校を卒業して新しく尚和会員に御仲間入りなさいました方々御めでとうございます。御喜び申し上げます。顧みれば私達の母校も旧豊中高等女学校、創立以来二十数年の歳月が流れその間私達の学生時代には想像もしなかった男女共学など幾多の苦難を起えて順調に発展毎年五〇〇名をこえる卒業生を送り出し現在尚和会員も実に八〇〇〇名をこえ一段と飛躍途上にある現状でございます。この重大なる時期にありまして今回皆様の御支援によりまして会長の重責を御引受致すこととなりました。何率未熟な私ではございますが本会の発展に努力致しますので、会員の皆様方の御協力を心からお願い致します。当会の運営行事等に御意見御希望がございましたらどしどし私に御連絡頂ければ誠に結構かと存じます。本年度の総会は誠に若さに溢れて居りましたが、古い会員の皆様の御姿を求めるには誠に至難でございました。緑色に包まれた母校を年に一度訪ねることも学生時代の純粋な気持ちを思い出し、ひいてはあすへの希望ともなりますので、毎年五月の第三日曜日には、ぜひとも御子達も御連れになって、母校に元気な姿をおみせ下さい。そして皆で益々母校の発展を願おうではありませんか。

誠に簡単でございますが本紙上をもちまして御挨拶にかえさせて頂きます。

御支援をお願いします

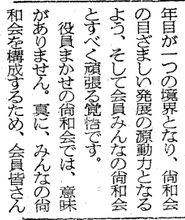
副会長　高三期　小田安広

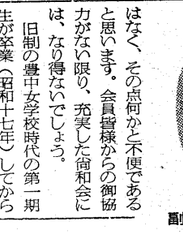
同窓の皆様お元気ですか、当尚和会も毎年発展八千名を越える会員となり一段の飛躍を期した時期に会員皆様の御支援により今回副会長の要職を引受けることとなりました。何分未熟なる者でありますが今後は役員はもとより会員皆様の協力御指導を得て尚和会の発展に努力致し度き所存であります。去る五月尚和会の総会には多数の若き会員が出席、盛大に行われた中にあって高三期の会員を眺める事が出来ず非常に残念でした。当会の男子としては最年長者であり年一回の総会には母校を訪れ若き血潮を流した時代を級友と共に語り合う事は明日への活力となるものであり、今後は出来る限り出席されて尚和会の発展に一役の御支援を御願い致します。

新しい尚和会に

書記　定時制八期　大石美智雄

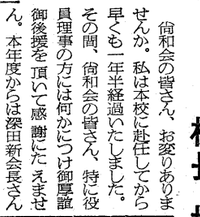
尚和会々員の皆様、如何お過しでしょうか。尚和会々報も回を重ねて今年で第十号の発行となり、嬉しく思います。私この度、書記を任命されたのですが、果してその任務が遂行出来るかと心配しているような次第です。尚和会々員も年々増える一方で今年で八千余名。八千名の会員から成る尚和会という事を考えると、その運営上、いろいろと困難な点が多く生じる事と思います。尚和会は一部の人のために存在する組織ではありません。尚和会は会員一人一人のものである筈です。同窓会は、いづこを問はずマンネリ的な運営になりがちなものですが、少しづつでも、そうゆうマンネリ的組織、運営から脱皮して、一人でも多くの会員から支持される『新しい尚和会』に、したいと考えております。尚和会の役員は尚和会の専従で、その仕事をやっているのであるとも思います。尚和会々員の皆様、如何お過しでしょうか。

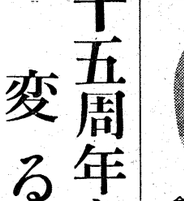

副会長　小田さん

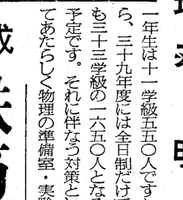

会長　深田さん

書記　大石さん

副会長　上田さん


会計　野曽原さん


会計　山木さん


書記　藤本さん

私なりの流儀で

会計　高八期　野曽原宏道

会計という大役を御せっかく会報に駄文を寄せざるを得ない破目に陥ったが、私如き不精者にとっては大変な負担である。出来るだけ〆切を延ばしてきたが結局は書かねばならないので思いきって筆をとることにした。思うに人には夫々個性とか持ち味とか云うものがあるように、会の執行部の御協力を、お願い致します。此の度び会計に選ばれるにはそれ相当の覚ずの持ち主であるべきだが、私の場合は父が母校に在籍中ということと、尚和会館にいるという便宜的な点がその主たる理由であったようだ。それは総会当日「近いとやでも引き受けねばならん」といわれたのでもわかる。したがって出来得れば次期には内外の先輩諸兄姉、後輩諸君の中から、フレッシュな思考の持ち主で実行力のある人に出て頂きマンネリ化がちな尚和会に新風を吹きこんで頂くことを願う次第である。さてこの役を引受けるに当り抱負と云われるとはたと当惑する。何もないからだ。従って「身命を賭して……」などと大袈裟なことを云わない。会計には、山木清治氏と云う、その方面でのベテランが、本当によくやって下さるので、米米の私には、山木氏と協力し乍ら私なりの流儀で私の出来ることをやるしか云えない。易言難行を地で行きがちな私ではあるが、日々の事務の他に五年後の三〇周年記念の基礎準備もあることだし会計として地道に尚和会発展の為に微力を尽くして行きたいと思う。ここに重ねて会員の皆様の御協力を切に御願いして筆を置く。

任期を終えて

前期会長（高女一期）　塚田京子

暑さも加わり、夏祭りの賑いの頃となって参りましたが同窓の皆様もお健やかにご活躍のことと思います。今年は、創立二十五周年を迎え、また約六百名の方々が新しく私達の仲間入りをして下さいまして、お庭の樹々、校舎も磨かれ、発展してゆく母校をみるにつけ、私たちの精進を新にいたします。未熟な私が会長になりました。僅か二年の任期の間、これといって何も出来ませずおいとまする事は、皆様に申し訳ないことで、ただ微力をなげくのみで、私としまして、会のこともわかりかけて来て、これからという折に際し、本当に残念でございますが、子供の大学入試をひかえ、そのことに専心致し度いと存じ、やめさせて頂く事となりました。校長先生初め顧問の先生方からも、私ごときものにつづけてやってほしいとの御言葉、身にしみてお受けせねば申し訳ない気持でございましたが、これからは、常任理事として出来る事はさせて頂き度いと存じます。そこで、私の最も信頼してます、前会長榎木様とも親友の間柄の深田様にお願いすることになりまして、本当に心強く、会も大きく飛躍することと信じます。

私如きものに好意をもって、御協力下さいました理事の方々初め皆々様に感謝の気持でいっぱいでございます。本当に有難とうございました。何卒、会員諸兄姉の心からの御協力をお願いしまして、最後に御健康と御多幸を御祈り致しまして、御挨拶と致します。

創立二十五周年を迎え変る母校

校長　坪井明

尚和会の皆さん、お変りありませんか。私は本校に赴任してから早くも一年半経過いたしました。その間、尚和会の皆さん、特に役員理事の方には何かにつけ御厚誼御後援を頂いて感謝にたえません。本年度からは深田新会長さんを迎えて役員の方にも一部更送がありましたが、前塚田会長さん時代と同じくよろしくお願い申上げたいと思います。この機会に紙面をかりて母校の近況を申上げ、御挨拶にかえたいと存じます。

本校は昭和十二年の創立ですから、本年は創立二十五周年に当るわけであります。創立当初の本校舎は、木造鉄筋としては天下の誇りをあびたと聞いていますが、二十余年を閲した今日、多少の損傷はまぬかれません。ことに恵風園の思出深い園の樹々は、当時から見れば、いぶんその茂りを深くしております。名園と云うにふさわしく、生徒の好適の憩いの場になっています。

現在本校は生徒数が全日制で二十九学級の六四五〇人、定時制が十二学級の六〇〇人、合計一〇〇〇名を越える大世帯になっています。丁度高校の急増する三十八年度に一年先んじた本年から二学級の増募をしましたので、現在の一年生は十一学級五〇人ですから、三十九年度には全日制だけでも三十三学級の一六五〇人となる予定です。それに伴なう対策としてあたらしく物理の準備室・実験室・階段教室が鉄筋二階建で、総会の席上、木さんより会計報告が行なわれ、去年に引ちつづき今年も又総会費予算を三万円増額、事務費一万円、も増額それにひきかえ同窓会館維持費が二万円卒業生記念品料一万円それぞれ減額、そして本年度より名簿発行費が特別会計の項にいれられる。毎年収入としては前年の卒業生の入会金（二、三年後は少しは増えても）にほとんどたよっている。が年々人数は増すばかり、そういう意味から特別会計が設置されたのだろうが金然その威力を発揮していない。やがては面でだってくる問題を含み今年の予算は組まれた。

昭和37年度 尚和会予算

科目	予算額
事務費	70,000
慶弔費	20,000
同窓会館維持費	30,000
卒業生記念品料	80,000
東京支部援助費	10,000
会報発行費	170,000
総会費	120,000
積立金	100,000
予備費	89,000
合計	689,000

人事移動

三十七年十月以降に離任、着任された方は以下の通りである。

離任（定時制）　山田　惇（理科）夕陽丘高校　転任先

西　義一（国語）今宮工高校
着任（全日制）前勤務先
尾田　翠（音楽）母校講師
牧　来男（社会）母校講師
井岡　鹹久（英語）布施高校
赤堀弁太郎（数学）島上高校
三島　発（体育）島根県立川本高校
（定時制）
岡安　孝教（国語）豊中三中
尼木　康雄（理科）大手前高校
長岩　教（数学）渋谷中学

昭和36年度 尚和会収支決算報告書

大阪府立桜塚高等学校尚和会

収入総額	¥ 729,484	
支出総額	¥ 629,425	
収支差引残額	¥ 100,059	（次期繰越）
特別会計残額	¥ 455,605	

収入内訳

科目	決算額	予算額	比較増減額	備考
入会金	539,000	539,000	0	1000円×539名
雑収入	58,418	20,000	増 38,418	銀行預金利子、会報広告料
前年度繰越金	132,066	132,066	0	
合計	729,484	691,066	増 38,418	

支出内訳

科目	決算額	予算額	比較増減額	備考
事務費	87,959	60,000	増 27,959	理事会議費、通信費、印刷費
慶弔費	1,500	20,000	減 18,500	餞別1件、香料1件
同窓会館維持費	14,586	50,000	減 35,414	光熱費、植木手入代、畳、水道修理
卒業生記念品料	76,700	90,000	減 13,300	硬質入、卒業証書入紙筒
東京支部援助費	10,000	10,000	0	
会報発行費	173,522	170,000	増 3,522	第9号会報印刷代、郵送料 発行準備費
総会費	95,157	90,000	増 5,157	郵送料、アトラクション経費、接待費
名簿発行費	30,000	30,000	0	特別会計名簿発行積立金へ挿入
積立金	100,000	100,000	0	特別会計積立金へ繰入
予備費	40,001	71,066	減 31,065	東京支部会出席諸費、新年挨拶理事会費
合計	629,425	691,066	減 61,641	

特別会計内訳

科目	収入内訳	支出内訳	残額
尚和会積立金	前期繰越金 300,000 36年度残額 100,000		400,000
名簿発行積立金	前期繰越金 89,620 36年度予算額 30,000	名簿発行費 107,315	12,305
会館維推積立金	前期繰越金 43,300		43,300
合計	562,920	107,315	455,605

再び総会費増額

昭和卅六年度収支決算
昭和卅七年度予算案

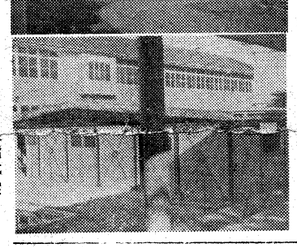
校舎増築完成

鉄筋二階の物理室

定時制生徒指導室

プール横に音楽室も

今年度より生徒数増員に伴い昨年十月着手予定であった増築工事が今年の三月より着工六月に完成した。又それと関連して定時制生徒指導教室も新に設けられた。新増築場所は昨年定された通り通用門の北側、甲子園高校教室の南側に並行してモートル鉄筋二階建で建られた物理教室（二階は階段式講義室）と音楽室又一階は実験室と準備室の合計四教室）またプールの横に音楽室が新しい設備をもって建られた。定時制指導室はクラブロッカー室の横にプロックと鉄骨とで作られてある。全教室は九月の学期始めと同時に使用される。その外に定時制生徒の長い念願の運動場の照明も水銀燈が六本（一本二二の水銀燈がついている）が十月完成の予定で設備されている。又体育館の照明も水銀燈にヨード電気が加わり一層明るくなった。定時制体育総業及びクラブ活動を大いに助けるであろうと思われる、定時制卒業生にはうらやましい限りである。校舎内部も第一音楽室が化学実験室に変った金、定生徒諸君の体育、物理化学及び一般科目の教育向上とはかられる事を大いに願わっ。


音楽室

定時制生徒指導室

一段と輝く物理室

東支京部　みなさん今日は

昭和三十七年度、東京支部総会はさる五月三十日（日）、富士屋アイスで開かれた。本部からは山口先生と副会長の上田さんが出席された。十一時より開会、まず支部役員司会より山口先生、上田さんの挨拶のあとジュースで会員カンパイしまして支部の経過報告についで上田さんより本年度本部の総会の様子及び経過と今後の方針について述べられた。会は洋食に舌つみをうちながら、和やかな雰囲気で進められ、山口先生の母校及び通学道近辺の昔と今の移り変りなどのお話しに、母校そして同窓生と仲よくならんで通った道など思い浮べられながら熱心にお話しになられたとの事です。子供づれの方が多く会をより一層和やかな雰囲気にしていました。最後に今後の希望として

一、支部会を年二回開きたい。

一、本部及び母校の方々により多く出席していただきたい。

一、支部援助金を増してほしい。（現在は通信費などは役員が自腹を切っている）

以上の事が決められ午後四時頃又会う日を楽しみに閉会。

東京支部の皆さん尚和会会報にどしどし原稿を送って下さい、短信、随筆、その他なんでもけっこうです。最後に皆様方の希望にむくいるよう努力する事を誓い、今後益々支部発展に期待し、皆さまの御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

桜塚高校尚和会、東京支部連絡所
東京都杉並区方南町一一八番地
榎本泉様（高女二期生）
とらや輸業商会
TEL東京（〇三二八）一四八一

青汀

▽徳川時代の初期に藤堂高虎という武将がいた。寛永四年、蒲生秀郷が死去し嗣所となった会津領四十万石の跡に離を揚えるか考えた末、時の将軍家光が高虎を呼んで「会津は奥州の要ゆえ、そちに任せようと思うが」と言うと「有難い仰せながら、老体その大任に堪えまする」と辞退したので「然らば、誰がよいかの」と問うと「加藤嘉明が宜しいかと存じます」と答えた。その答えに家光は我が耳を疑って聞き返した。「嘉明とな？」「左様、加藤嘉明にございます」とほっきり聞いて家光は、腑に落ちない顔をした。高虎と嘉明の不仲は周知のことだったからである。「そちと嘉明との不和はかねがね聞き及んでおるが、その嘉明を推すは如何なる心かと」と聞かれて、高虎は答えた。「遺恨は小事、もって天下の大事を誤まつことはできませぬ」会津四十万石に封ぜられた嘉明は、後日この話を知って、高虎に深謝し、親交を結んだ。▽古い昔々のことであるが、今もって立派に通用する考えではないだろうか。新しい教育を受けたわれわれは、やれ自由だ、やれ民主主義だのと憂心してはいないだろうか。自分さえ良ければよいというような、利己的な誤まった自由を振り回わしてはいないだろうか。勿論、自分自身を大切にしなければいけないが、多くの場合それは身勝手とか我ままになっていると思う。大事なのは、物事の結果や相手の立場までも考え見通す正しい広い心と目を作りたいものである。▽前の話を今、我々の直接関係ある尚和会活動に当て嵌めてみると、遺恨だの天下だのと時代がかった物騒な言葉が邪魔になるが非協力・不活発さの根本を突いているように思われる。三百何十年か昔のこのような大事と小事の倫理と、現在のそれとは、天が地になるほどの違いはないはずであると思う。要は会員一人一人の関心と自分の立場を考える心の余裕さえ次第であるということを今一度、再認識してもらいたい。会報発行も今年で十号を出すに至った。この辺でもう一度、本来の総会の目的・会報のあり方を考えてもらい今後の、会員の協力を切に希望し、尚和会の前途を期待する。▽尚、蛞足であるが、高虎は三十二万石の領主、寛永七年十月五日に死んだ。

張毒舌の人気を主分析すれば

このごろ毒舌というか、悪評というか、批評家ではないが、特に作家等持前の筆にものをいわせていたい放題をいっているのをよくみる。ラジオでも西条凡児、トップライト、小汀利得、今東光等が世間の注目を浴びているような不名に目をつけ、それについて我々にはいえない、それでそいていたい放題をしゃべっている。本でも一流の作家なら、随筆のような形で、日常茶飯事の物事について書いているのはさらである。こっちも読んでいて気持がいいのは、たしかである。そして又おもしろい。公人相手とか財閥相手とかなら、尚おもしろい。しかし持がいい。ちょうど昔のいばりくさった侍が狂言の舞台で町人にやっつけられて観客がよろこんでいたようなものである。がその問題は毒舌家の口や本に出た所で、当の問題は何の反応も示さないのである。その心理たるや実に単性である。

うさばらしや、はけ口ができたかもしれないが問題の解決にはなっていないのである。それを我々の身近にもってくれば、あちこちに見あたる。例えば、ある人には、こういうことが云いたいが、それを人にいうと後が怖しいとか、こういうことをいい云ってその人に恥をかかせないようにとか、中には難でも怒れば、本心がでてしまうのだが、それでもいないようにいる。そして目上のやや上役、先輩、尊敬している等に向っては、我々はあまり、その人にとって聞きづらいことをいうのに気おくれを感じる。

「私は十米の距離から走ってくるライオンを見ても別に驚きはしないが、社交会で人と話している時程恐ろしいものはない」と云っているのもうなづける気がする。しかし現実に悪いと思っているのにそれを徹回したり、答えなかったり、あるいは全然反対の答えをしたりするのは何故だろう。悪いと思ったら率直にいい表し、蔭口のような形やうさばらしのような結果に終るようではいけない。たしかに発表の時期はあるにちがいないが、言わずじまいに終ってしまうよりは、多少の遅い早いはあるしても、いうことはいっておいたがいいにちがいないのである。又それを聞いて怒りだしたり、恥ずかしがったりもよかろう、それで諒解がとげるなら、とにかく、結果は期待せずに、言うという、行為の前の焦躁をのりこえる勇気は、もち合わしているのだから。又その為に人間には目があり耳があるのだし、言葉や文字というものもあるのである。そしていいにくいなら友人と、先輩と兄姉と先生等やいろんなつながりはあるはずである。そういう人といっしょに勇気をつけるのもいいはずである。いわないよりは。

（S）

住所変更の方は至急おしらせ下さい。
昭和36年度5月現在
尚和会々員名簿
一部 350円 〒 70円
大阪府豊中市桜塚東通五丁目一番地

祝 創立二十五周年記念特集号

最も新しい
よくきく薬
株式会社
大一薬局
豊中市桜塚元町4丁目50番地
電話 豊中 ② 3706 番

豊中信用金庫
本店 岡町駅前 豊中②代0501
本町支店 豊中駅前 豊中②代0551
庄内支店 庄内駅前 大阪(391)0565
螢ケ池支店 螢ケ池駅前 豊中②3692
曽根支店 曽根駅前 豊中②5868
石橋支店 石橋駅前 池田⑥8441

時計の御用は
タイムグラフアー使用の
スイス堂へ
桜塚市場前市役所通り
TEL 豊中 ② 6884

精肉・食料品
滝川商店
豊中市桜塚元町4丁目35番地
TEL豊中②4929番

好評を博したアトラクション

特座談会集

第10号の会報を発行するにあたり、総会の感想や総会に対する意見を書いてもらうように依頼したところ、特集として載るだけの量が集まらなかったので、座談会にした。そこで会員諸兄姉の中から出席し易い方―例えば学校に比較的近い方―達に集まっても出らった出席された方は割合少なかったが、テーブルを囲んで和気あいあいと、夏の夜の一時を過させてもらった。また出席者のほとんどの方が結婚されている関係、〝うちの家内が〟〝うちの主人は〟とテープレコーダーが加熱しすぎて、故障してしまわないかと、われわれをハラハラさせた一幕もあり、爆笑また爆笑で非常に楽しい座談会だあった。

さる八月十日、母校校長室において座談会を開いた。これは

写真　上右より三人目から岩本さん小田さん白川先生坪井校長井上先生谷田さん松田さん青井さん。
写真　下右より二人目から藤本、永井、伊藤さん内村さん。

出席者

坪井校長
白川定時制主任
深田久子　尚和会々長・高女二期
小田安広　同副会長・高校全日制三期
谷田一彦　高校全日制三期
松田和子　高校全日制五期
伊藤光弥　高校全日制七期
岩本釣　高校全日制八期
青井幸久　高校全日制九期
内村健一郎　高校全日制十一期
藤本美代子　会報編集委員　高校全日制十三期
司会者
永井敏輝　会報編集委員　高校定時制十期

踊るのに勇気がいる　古い人もぜひ出席を

ダンスパーティー

司会　総会の感想とくにアトラクションのダンスについて述べて下さい。

谷田　あのダンスパーティは、二年前頃に若い方達から一度学校を使ってやったらどうかと云う意見がありましてね。初めての試みとしてやったわけですけれど、まあ費用はともかくとして、手間がかかり役員の努力がないと出来ないもので、やった結果あの状態でした。今までよくやっていた手品や音楽会と変わっていて、皆で踊れるし、場所は暗かったけれど意義深かったと思いますけれども、若い方はどう思われました。

岩本　総会はおもしろくないので座っているとは座っとるんですけど……。確かに企画としては良かったんと違いますか。

坪井　初めはどうゆうふうになるか心配していましたが、やって見ますと、学校であれ位やれるなら大したものですよ。雰囲気も出ていましたね。

松田　そうですね。淋しすぎましたね。踊る人が少なかったので出て行くのに随分勇気がかかりますよ。

深田　音楽がね……。もう少し音楽を考え、タンゴを後にして、合いの場をもったということは非常に良かったと思います。今後もこういう事をしていただきたいですね。

深田　最後にフォークダンスなんかして、皆様踊って貰えて。

小田　フォークダンスは若い人も年寄りも非常に良かったですね。あれは、もう、うちとけて……。

谷田　年寄りって酷ですか！（笑）

松田　先生がもう少しいらしていたらね、もっと楽しかったのじゃないかしら。

深田　ああ、先生のこと。あのとき同期会が二つほどあったからね。

谷田　まあ、総会のあるときは同期会は遠慮してもらわないといけませんね。

小田　来年からは、絶対ずしてもらわんと、それとね、今年は若い人が非常に多かったでしょうだいたい、卒業しぞすぐの人が多いので、社交ダンスを知らない関係で、どうしても、こういう会を発展させていくためには、古い人もどんどん出てもらわんとには、ああいう会を催しても、盛り上がりが少ないと思います。だから、今後もっと古い人も出席してもらう様に。古い人がもう五十人いたらだいぶ変わっていたと思うんですが、一度さえたと思います。まあ、あのプログラムとすれば、非常に淋しかったですね。人に当るということがなかったんですから。

松田　上手な人が踊っていたからでしょう（笑い）

谷田　それもありましたがね。

司会　青井さん〝他に何か。

青井　私はね〝踊りは全然踊れないんですからね。何分不慣れで。まあ、ダンスを知っておかなければいけないのか、知らないものには知らんなりに、何か別の方法を…。

谷田　知らない方には、音楽を楽しんでいただくという手もありますね、ダンスパーティというものは、今まで、ダンスを抜いて音楽を楽しんでいただく、それだけでしたからね。

小田　だけどね、ダンスが出来ない、社交ダンスが出来ないというけど、最後のフォークダンスっていうのは、あれは非常に良かったと思いますね。

谷田　先生、良かったですな、あれは。

深田　来年は校長先生も是非。

司会　白川先生、最後までおられましたか、どうでした？

白川　たびたび、踊れ踊れと引っ張り出されてね。

谷田　だけど、校長先生の踊っておられるのを写真をとっとかなければいけませんな。

白川　今度の運動会にはね、校長先生も踊ると言ってるんだぜ。そいて、あの、ここでちょっと内緒で教えてもらう。（笑）

司会　アトラクションの時に、真中で模範として踊ってもらっていたら、もっと多くの人が踊れたと思うんですが。

白川　僕もね、それをちょっといおうと思ったんですがね。はじめに、あの、いわゆる踊りの型を簡単にやってもらってね、そうやって踊って、またつぎにその曲をやるならね。それにある程度、習熟してきたらつぎの型をやって、そうゆうことも必要と思うんだね。そうやってくれたら僕かて、またそれに習って、それは大部分の人、踊る人もあるけどね、あれ踊りたいんだけども出るアンギリがつかない。そんな人がたくさんあったと思う。だから、あれ、ごちゃごちゃになってもいいから、半数位の人がね、なんだんなんと踊れりゃあね。もっと盛り上ったら楽しい雰囲気が出たと思うんだね。そうゆうことも必要と思うんだね。そうやってくれたら僕かて、すぐ踊れたんだがね。（笑い）

谷田　予算が限られてる関係上ね、その設備には限界がありますけどね。

小田　まあ普通、同窓会のダンスとしては、まあまあ以上の設備は無理でしょうな。

谷田　そうキラビヤカにしたらちょっておかしくなるし。

小田　ただね、感じたことはうちの学校の生徒は割合おとなしいですね、積極性に欠けてますわ。もう少しなんこうか、間違ってもいいんですからね、どんどん出てほしかったですね、若い人が多いのに……。

谷田　それはあれがね縛感しています。

小田　非常にイカンと思いますね。

伊藤　あの今までの映画会とかね、音楽会の時はダンスのように話せなかったですね、ダンス楽しみながら踊りながら、音楽聴きながら会った人と話せましたらね。

谷田　そうですね。

伊藤　若い人が多かっただけに、雰囲気がまだ、ムードが悪かったですね。あの、慣れていないと云いますか、そういうことはあったと思います。ああ、あの僕、家内連れて来たんですけど帰って、学校でダンスパーティするいうのでは行く前は変な具合にいったんですけどね、結構よかったと云ってましたし、やっぱりよその学校でもあんなこと…。

谷田　していますね。伊藤さん失礼ですけど奥さんは同窓生ですか？

伊藤　いえ違います。全然違います。（爆笑）

小田　だけどよその学校、すくないでしょう、こういう形式っていうのは。

谷田　そうですね。

小田　一番うちとけやすいのはこういう催しだと思います。

司会　結局、改善面としては設備それに伴なう予算でしょう。それはそれとして内容のことになりますが、まず始めにフォークダンスをやり雰囲気が出たところでダンスを始めたら、出席者も踊りやすいし、さそわれる人も、別に気恥かしくはないと思いますが、どうでしょうか。

谷田　来年はあれを先にやるといいですね。

深田　その方が皆んな踊りやすいですね。

谷田　やわらかいムードが作れてね。

深田　私なんかしょっぱなから踊らされて、おしまいまで休むひまがありませんでした。

谷田　しかし、あれは疲れまんな。

白川　始めフォークダンスをやるという意見もあったでしょう。

谷田　そうですね。

小田　何か時間の都合で。

谷田　そうそう、時間の関係でそうなったんですな。

司会　一応これでダンスパーティの件は打ち切りまして、今後のアトラクションについて何か御希望がありましたらどうぞ。

深田　来年もダンスパーティーやったらいいでしょう。慣れてきたし今年やった経験をいかしてねはいけ。

谷田　ダンスパーティーの歴史としてはね、これで四回目です。前はね、一回目が宝塚会館、メトロが二回目。切符を発行して……。もうから時も、もうから時もありました。

白川　メトロの時は一辺行ってみたが、何だかいっぱいでしたね。

谷田　芋の子を洗うように。

白川　ん、あれ踊っとるのか立っとるのか分からなかった。

小田　五、六年前でしたね。

谷田　今から思えばあの時の苦労話ですけどね。あれ、パーティーの前の日に役員さん達に集まってもらって切符の計算したんですそうすると採算のとれるラインの半分しか売れてない、これはえらいことになったわい、どうしようかと思ったんです。しかし当って砕けるもうやってしまった以上在方がない、まあ場所が場所ですから先に、にぎやかな曲にしたらよかったですね。

谷田　もっと踊りやすいバンドだったらね……。サロン/ミュージックの様でしたね。

深田　お上品過ぎましたね。

岩本　バンドもステージにあげずに直接フロアーにおろした方が良かったんじゃあないんですか。

伊藤　ダンスパーティは非常に良かったですね。同窓会のほんとうの趣旨は、何期も一緒になってことで、そのことから考えると、このダンスパーティは良かったと思います。踊っている人は少なかったですが……。いろいろ皆話しけどね。

深田　お上品過ぎましたね。

谷田　年寄りって酷ですか！（笑）

松田　先生がもう少しいらしていたらね、もっと楽しかったのじゃないかしら。

深田　ああ、先生のこと。あのとき同期会が二つほどあったからね。

谷田　まあ、総会のあるときは同期会は遠慮してもらわないといけませんね。

小田　来年からは、絶対ずしてもらわんと、それとね、今年は若い人が非常に多かったでしょうだいたい、卒業しぞすぐの人が多いので、社交ダンスを知らない関係で、どうしても、こういう会を発展させていくためには、古い人もどんどん出てもらわんとには、ああいう会を催しても、盛り上がりが少ないと思います。だから、今後もっと古い人も出席してもらう様に。古い人がもう五十人いたらだいぶ変わっていたと思うんですが、一度さえたと思います。まあ、あのプログラムとすれば、非常に淋しかったですね。人に当るということがなかったんですから。

松田　上手な人が踊っていたからでしょう（笑い）

谷田　それもありましたがね。

司会　青井さん〝他に何か。

青井　私はね〝踊りは全然踊れないんですからね。何分不慣れで。まあ、ダンスを知っておかなければいけないのか、知らないものには知らんなりに、何か別の方法を…。

谷田　知らない方には、音楽を楽しんでいただくという手もありますね、ダンスパーティというものは、今まで、ダンスを抜いて音楽を楽しんでいただく、それだけでしたからね。

小田　だけどね、ダンスが出来ない、社交ダンスが出来ないというけど、最後のフォークダンスっていうのは、あれは非常に良かったと思いますね。

谷田　先生、良かったですな、あれは。

深田　来年は校長先生も是非。

司会　白川先生、最後までおられましたか、どうでした？

白川　たびたび、踊れ踊れと引っ張り出されてね。

谷田　運動会あたりも同窓会の方に来ていただいてフォークダンスをやってもらったらいいですな。

谷田　フォークダンスは体操の正課にあるんでしょ。

坪井　ありますよ。

白川　運動会でいつもやっていますよ。運動会で、一ぺんフォークダンスの時にかましくいわれたんだけど、僕、知らんからね、ご遠慮申し上げたんですよ。

谷田　先生も去方入られるんじゃあないんですか。

白川　僕、プサイクだからね。

谷田　だけど、校長先生の踊っておられるのを写真をとっとかなければいけませんな。

白川　今度の運動会にはね、校長先生も踊ると言ってるんだぜ。そいて、あの、ここでちょっと内緒で教えてもらう。（笑）

岩本　総会は面白くないという考えがもうしみこんでるんですねった話ですけどね。

谷田　そうですね。ちょっと弱

松田　年いった人が来ない、というのは子供があるでしょう。だから子供向きのアトラクションを入れたら、もっと古い人達も来られるんじゃないですか。

青井　毎年ね、総会といったらその年の卒業生が一番多くなると思うんですね。考え方によってはその人達を主体にしたものを催せば、その、もっと盛り上がるということは言えますね。ダンスパーティーなんかの企画でしたら古い人全集めるにはいいと思いましたね。ただ、その連絡ですね。住所が変わった人はすぐ通知せんとね、愛校心にも関係ありますが、又、役員の方の努力というのも、まあ一つ欠けてるんじゃあないかと思うんですけどね。

白川　総会やる前にね、駅なんかに赤スターをはり、いついつに同窓会やりますから参加してほしいですね。

谷田　総会が終ってから。

内村　僕、思うのですが、今度の総会はやっぱり多かったと違いますか。受付けに名前書いてない人が大分いましたし、飛び入りみたいに参加された人が多かったですよ。在学中からね、もうすこしアピールしといてもらたらいいのに。うちの学校は愛校精神が強くないと思います。

岩本　総会は面白くないという考えがもうしみこんでるんですねった話ですけどね。

谷田　そうですね。ちょっと弱

松田　年いった人が来ない、というのは子供があるでしょう。だから子供向きのアトラクションを入れたら、もっと古い人達も来られるんじゃないですか。

青井　毎年ね、総会といったらその年の卒業生が一番多くなると思うんですね。考え方によってはその人達を主体にしたものを催せば、その、もっと盛り上がるということは言えますね。ダンスパーティーなんかの企画でしたら古い人全集めるにはいいと思いましたね。ただ、その連絡ですね。住所が変わった人はすぐ通知せんとね、愛校心にも関係ありますが、又、役員の方の努力というのも、まあ一つ欠けてるんじゃあないかと思うんですけどね。

白川　総会やる前にね、駅なんかに赤スターをはり、いついつに同窓会やりますから参加してほしいですね。

谷田　総会が終ってから。

深田　今年は同期会にとられたので……。

白川　それもありましたね。

谷田　ちょっと真合が悪いね。

深田　だから来年から五月の第三日曜は絶対やめてほしいですね。

白川　学校でやってもらったらさっきの話のようにね。

谷田　総会が終ってから。

内村　僕、思うのですが、今度の総会はやっぱり多かったと違いますか。受付けに名前書いてない人が大分いましたし、飛び入りみたいに参加された人が多かったですよ。在学中からね、もうすこしアピールしといてもらたらいいのに。うちの学校は愛校精神が強くないと思います。

岩本　総会は面白くないという考えがもうしみこんでるんですねった話ですけどね。

谷田　そうですね。ちょっと弱

松田　年いった人が来ない、というのは子供があるでしょう。だから子供向きのアトラクションを入れたら、もっと古い人達も来られるんじゃないですか。

青井　毎年ね、総会といったらその年の卒業生が一番多くなると思うんですね。考え方によってはその人達を主体にしたものを催せば、その、もっと盛り上がるということは言えますね。ダンスパーティーなんかの企画でしたら古い人全集めるにはいいと思いましたね。ただ、その連絡ですね。住所が変わった人はすぐ通知せんとね、愛校心にも関係ありますが、又、役員の方の努力というのも、まあ一つ欠けてるんじゃあないかと思うんですけどね。

白川　総会やる前にね、駅なんかに赤スターをはり、いついつに同窓会やりますから参加してほしいですね。

谷田　今までやりましたけどねそれより個々にね、出した方が非常に効果的ですね。

内村　駅に出すのは、大分かかるんですか。

谷田　いや、そんなにかかりませんけどね。本当に力を入れてやろうと思えば、それも又一つのあれですね。両方二本立にいくのがね。

青井　まあ、だいたい今までは五月の第三日曜ですか、決定しているんですからね。日頃多少にしろ関心持っている人でしたら、頭に入れてやってくれると思うんですよ。

岩本　忙しい人は自分の誕生日まで忘れるんですからね。

谷田　まあそれに年に一回のことですからね、ついうっかりと、云うことありますからね。

岩本　会う人毎にもうしょっちゅうオルグしとかな、それにアトラクションで来るというより、やっぱり親しかった友達に会いたいと思って来る方が主じゃないかなと思う。同期の人があまりこない、先生も少ないですね。先生に会おうかなと思ってもおられないし、運動場でブラブラして帰ってしまうんで。

白川　その方のアピールが足らんね。

深田　今年は同期会にとられたので……。

白川　それもありましたね。

小田　同期会やられるんじゃ、ちょっと真合が悪いね。

深田　だから来年から五月の第三日曜は絶対やめてほしいですね。

白川　学校でやってもらったらさっきの話のようにね。

谷田　総会が終ってから。

内村　僕、思うのですが、今度の総会はやっぱり多かったと違いますか。受付けに名前書いてない人が大分いましたし、飛び入りみたいに参加された人が多かったですよ。在学中からね、もうすこしアピールしといてもらたらいいのに。うちの学校は愛校精神が強くないと思います。

岩本　総会は面白くないという考えがもうしみこんでるんですねった話ですけどね。

谷田　そうですね。ちょっと弱

松田　年いった人が来ない、というのは子供があるでしょう。だから子供向きのアトラクションを入れたら、もっと古い人達も来られるんじゃないですか。

青井　毎年ね、総会といったらその年の卒業生が一番多くなると思うんですね。考え方によってはその人達を主体にしたものを催せば、その、もっと盛り上がるということは言えますね。ダンスパーティーなんかの企画でしたら古い人全集めるにはいいと思いましたね。ただ、その連絡ですね。住所が変わった人はすぐ通知せんとね、愛校心にも関係ありますが、又、役員の方の努力というのも、まあ一つ欠けてるんじゃあないかと思うんですけどね。

白川　総会やる前にね、駅なんかに赤スターをはり、いついつに同窓会やりますから参加してほしいですね。

谷田　今までやりましたけどねそれより個々にね、出した方が非常に効果的ですね。

内村　駅に出すのは、大分かかるんですか。

谷田　いや、そんなにかかりませんけどね。本当に力を入れてやろうと思えば、それも又一つのあれですね。両方二本立にいくのがね。

青井　まあ、だいたい今までは五月の第三日曜ですか、決定しているんですからね。日頃多少にしろ関心持っている人でしたら、頭に入れてやってくれると思うんですよ。

岩本　忙しい人は自分の誕生日まで忘れるんですからね。

谷田　まあそれに年に一回のことですからね、ついうっかりと、云うことありますからね。

岩本　会う人毎にもうしょっちゅうオルグしとかな、それにアトラクションで来るというより、やっぱり親しかった友達に会いたいと思って来る方が主じゃないかなと思う。同期の人があまりこない、先生も少ないですね。先生に会おうかなと思ってもおられないし、運動場でブラブラして帰ってしまうんで。

白川　その方のアピールが足らんね。

深田　今年は同期会にとられたので……。

白川　それもありましたね。

谷田　ちょっと真合が悪いね。

深田　だから来年から五月の第三日曜は絶対やめてほしいですね。

白川　学校でやってもらったらさっきの話のようにね。

谷田　総会が終ってから。

案外多かった参加者？

同期会は学校で総会の時に

司会　ですね、積極性に欠けてますわ。もう少しなんこうか、間違ってもいいんですからね、どんどん出てほしかったですね、若い人が多いのに……。

谷田　それはあれがね縛感しています。

小田　非常にイカンと思いますね。

伊藤　あの今までの映画会とかね、音楽会の時はダンスのように話せなかったですね、ダンス楽しみながら踊りながら、音楽聴きながら会った人と話せましたらね。

谷田　そうですね。

伊藤　若い人が多かっただけに、雰囲気がまだ、ムードが悪かったですね。あの、慣れていないと云いますか、そういうことはあったと思います。ああ、あの僕、家内連れて来たんですけど帰って、学校でダンスパーティするいうのでは行く前は変な具合にいったんですけどね、結構よかったと云ってましたし、やっぱりよその学校でもあんなこと…。

谷田　していますね。伊藤さん失礼ですけど奥さんは同窓生ですか？

伊藤　いえ違います。全然違います。（爆笑）

小田　だけどよその学校、すくないでしょう、こういう形式っていうのは。

谷田　そうですね。

小田　一番うちとけやすいのはこういう催しだと思います。

司会　結局、改善面としては設備それに伴なう予算でしょう。それはそれとして内容のことになりますが、まず始めにフォークダンスをやり雰囲気が出たところでダンスを始めたら、出席者も踊りやすいし、さそわれる人も、別に気恥かしくはないと思いますが、どうでしょうか。

谷田　来年はあれを先にやるといいですね。

深田　その方が皆んな踊りやすいですね。

谷田　やわらかいムードが作れてね。

深田　私なんかしょっぱなから踊らされて、おしまいまで休むひまがありませんでした。

谷田　しかし、あれは疲れまんな。

白川　始めフォークダンスをやるという意見もあったでしょう。

谷田　そうですね。

小田　何か時間の都合で。

谷田　そうそう、時間の関係でそうなったんですな。

司会　一応これでダンスパーティの件は打ち切りまして、今後のアトラクションについて何か御希望がありましたらどうぞ。

深田　来年もダンスパーティーやったらいいでしょう。慣れてきたし今年やった経験をいかしてねはいけ。

谷田　ダンスパーティーの歴史としてはね、これで四回目です。前はね、一回目が宝塚会館、メトロが二回目。切符を発行して……。もうから時も、もうから時もありました。

白川　メトロの時は一辺行ってみたが、何だかいっぱいでしたね。

谷田　芋の子を洗うように。

白川　ん、あれ踊っとるのか立っとるのか分からなかった。

小田　五、六年前でしたね。

谷田　今から思えばあの時の苦労話ですけどね。あれ、パーティーの前の日に役員さん達に集まってもらって切符の計算したんですそうすると採算のとれるラインの半分しか売れてない、これはえらいことになったわい、どうしようかと思ったんです。しかし当って砕けるもうやってしまった以上在方がない、まあ場所が場所ですから先に、にぎやかな曲にしたらよかったですね。

谷田　もっと踊りやすいバンドだったらね……。サロン/ミュージックの様でしたね。

深田　お上品過ぎましたね。

岩本　バンドもステージにあげずに直接フロアーにおろした方が良かったんじゃあないんですか。

伊藤　ダンスパーティは非常に良かったですね。同窓会のほんとうの趣旨は、何期も一緒になってことで、そのことから考えると、このダンスパーティは良かったと思います。踊っている人は少なかったですが……。いろいろ皆話しけどね。

深田　お上品過ぎましたね。

谷田　年寄りって酷ですか！（笑）

松田　先生がもう少しいらしていたらね、もっと楽しかったのじゃないかしら。

深田　ああ、先生のこと。あのとき同期会が二つほどあったからね。

谷田　まあ、総会のあるときは同期会は遠慮してもらわないといけませんね。

小田　来年からは、絶対ずしてもらわんと、それとね、今年は若い人が非常に多かったでしょうだいたい、卒業しぞすぐの人が多いので、社交ダンスを知らない関係で、どうしても、こういう会を発展させていくためには、古い人もどんどん出てもらわんとには、ああいう会を催しても、盛り上がりが少ないと思います。だから、今後もっと古い人も出席してもらう様に。古い人がもう五十人いたらだいぶ変わっていたと思うんですが、一度さえたと思います。まあ、あのプログラムとすれば、非常に淋しかったですね。人に当るということがなかったんですから。

松田　上手な人が踊っていたからでしょう（笑い）

谷田　それもありましたがね。

司会　青井さん〝他に何か。

青井　私はね〝踊りは全然踊れないんですからね。何分不慣れで。まあ、ダンスを知っておかなければいけないのか、知らないものには知らんなりに、何か別の方法を…。

谷田　知らない方には、音楽を楽しんでいただくという手もありますね、ダンスパーティというものは、今まで、ダンスを抜いて音楽を楽しんでいただく、それだけでしたからね。

小田　だけどね、ダンスが出来ない、社交ダンスが出来ないというけど、最後のフォークダンスっていうのは、あれは非常に良かったと思いますね。

谷田　先生、良かったですな、あれは。

深田　来年は校長先生も是非。

司会　白川先生、最後までおられましたか、どうでした？

白川　たびたび、踊れ踊れと引っ張り出されてね。

谷田　運動会あたりも同窓会の方に来ていただいてフォークダンスをやってもらったらいいですな。

谷田　フォークダンスは体操の正課にあるんでしょ。

坪井　ありますよ。

白川　運動会でいつもやっていますよ。運動会で、一ぺんフォークダンスの時にかましくいわれたんだけど、僕、知らんからね、ご遠慮申し上げたんですよ。

谷田　先生も去方入られるんじゃあないんですか。

白川　僕、プサイクだからね。

谷田　だけど、校長先生の踊っておられるのを写真をとっとかなければいけませんな。

白川　今度の運動会にはね、校長先生も踊ると言ってるんだぜ。そいて、あの、ここでちょっと内緒で教えてもらう。（笑）

岩本　総会は面白くないという考えがもうしみこんでるんですねった話ですけどね。

谷田　そうですね。ちょっと弱

松田　年いった人が来ない、というのは子供があるでしょう。だから子供向きのアトラクションを入れたら、もっと古い人達も来られるんじゃないですか。

青井　毎年ね、総会といったらその年の卒業生が一番多くなると思うんですね。考え方によってはその人達を主体にしたものを催せば、その、もっと盛り上がるということは言えますね。ダンスパーティーなんかの企画でしたら古い人全集めるにはいいと思いましたね。ただ、その連絡ですね。住所が変わった人はすぐ通知せんとね、愛校心にも関係ありますが、又、役員の方の努力というのも、まあ一つ欠けてるんじゃあないかと思うんですけどね。

白川　総会やる前にね、駅なんかに赤スターをはり、いついつに同窓会やりますから参加してほしいですね。

谷田　今までやりましたけどねそれより個々にね、出した方が非常に効果的ですね。

内村　駅に出すのは、大分かかるんですか。

谷田　いや、そんなにかかりませんけどね。本当に力を入れてやろうと思えば、それも又一つのあれですね。両方二本立にいくのがね。

青井　まあ、だいたい今までは五月の第三日曜ですか、決定しているんですからね。日頃多少にしろ関心持っている人でしたら、頭に入れてやってくれると思うんですよ。

岩本　忙しい人は自分の誕生日まで忘れるんですからね。

谷田　まあそれに年に一回のことですからね、ついうっかりと、云うことありますからね。

岩本　会う人毎にもうしょっちゅうオルグしとかな、それにアトラクションで来るというより、やっぱり親しかった友達に会いたいと思って来る方が主じゃないかなと思う。同期の人があまりこない、先生も少ないですね。先生に会おうかなと思ってもおられないし、運動場でブラブラして帰ってしまうんで。

白川　その方のアピールが足らんね。

深田　今年は同期会にとられたので……。

白川　それもありましたね。

谷田　ちょっと真合が悪いね。

深田　だから来年から五月の第三日曜は絶対やめてほしいですね。

白川　学校でやってもらったらさっきの話のようにね。

谷田　総会が終ってから。

内村　僕、思うのですが、今度の総会はやっぱり多かったと違いますか。受付けに名前書いてない人が大分いましたし、飛び入りみたいに参加された人が多かったですよ。在学中からね、もうすこしアピールしといてもらたらいいのに。うちの学校は愛校精神が強くないと思います。

多方面に渡る趣味

西条高校の大先輩

定時制主事　白川　先生訪問

コンバンワ

「今晩は」「よくぞ遠れたな」「どうぞおとりなさい」我々のモットーとしている"時間厳守の精神"もとに当分残念ながら…である。玄関のすぐ横の室に通された。テレビが高校野球のニュースをやっていた。西条高校の…というテレビの声に「これは見なければ」と奥さんも来られ、我々はひとまずテレビを観ることになった。「それ、ここで逆点、これがよく打ったな」それはそれは西条の回し者のようなヒイキ振り。いかなる理由で、と考えていたらなんのなんの先生は西条の大先輩であった。「大変静かですね」から話が始まり、自然と趣味の話になっていった。カラー写真のネガをたくさんみせていただいた。「この金閣寺の色合い、うまくいってね」「この下車の緑、苦心したよ」我々は綺麗なネガをみて、ゴキゲン。先生もゴキゲン・ゴキゲンな者同士は話がはずむことはずむこと。先生の手膨りの額もみせてもらった。非常に精巧な建てつけ（？）でガッチリしていて性格を表わしているように思えた。趣味を聞いていると、次から次へと出てくるので、我々は内心おどろいた。油絵、日本画、写真着色、ETC。スポーツではテニスはとくに有名。「こないだもすこしやったんだが、やってる最中は年を忘れて若いもんと一緒にやってるが、終ってからがえらくてね。ハハハ」いい先生である。われわれ三人いったうち二人は初対面であったが、その固苦しさが感じられなかった。「私ね、学校を卒業してから胃を悪くしてね、七年も。その間に以前の神経質な性格が変わってね。病気してる時に、不幸な環境の人に同情というか気持を扱めるようになった。非常にいい人生経験だった」といわれる。それからアルバムをみせもらった。先生の学生時代の変装の写真（ケ形のケッ作な写真）奥さんの娘時代の写真、旅行に行かれた時の写真の数々。「先生は奥さんと……」「見合い結婚。そうやったね？」と奥さんに聞かれた。時計をみると十一時まえ、急いで我々も一緒に入っての記念写真を撮った。最後にご家族。奥さんは梅花の先生。それに娘さんと先生の妹さんの四人ぐらし。奥さんが心をこめて作ってくださったバラ寿司をごちそうになったのも付け加えておこう。

恩師よ！友よ！

高女一期　滝せつ子（旧三浦）

卒業してからはや二十年、夢の一様に過ぎてしまいました。母校にもすっかり御無沙汰しておりますが、折にふれ、なつかしく思い出しては、一期生の皆様方、どうしていらっしゃるかしらとお便びしております。

私は、主人の職業柄（農林中金職員）転々といたしまして、今年の五月より東京に住んでおります。今迄、大阪をやり出しに、和歌山、鹿児島、高知、京都と住所をかえました。方々を見物出来て、よい事もございますが、度々転居させられる子供達がかわいそうです。子供は、中学一年、小学六年、幼稚園に三人、女の子ばかりで、のびのびと健康に育ち、平凡乍ら幸福な日々を送っております。今迄に悲しかった事と言えば、鹿児島時代、母を亡くし死に目にも会えなかった事で、これも転勤の多い身の辛さでございましょう。京都では、関美穂子様（旧姓山本様）と お近くで、よく市場の行き帰りなどにばったり会い、立話しを楽しんだもので、お友達が近くにいらっしゃるというだけで、嬉しゆうございましたが、東京には、どなたかどちらにおいでになりますか。ぜひお伺いして旧友を暖めたいものでございます。私は農家を巣立って十余年、何と短かく、そしてあわただしい年月だったのでしょう。

それぞれに我が道を歩み出しましたものの、多くの皆様方も、落着かれた頃かと存じます。この折に、高女七期生としての、横の連帯りを保ち、強く結ばれますならば、どんなに素晴しいことかと思います。そして、来年の十五周年を、盛大に迎えたいものと、ひたすら願っております。

全国大会に出場す

女子バスケット部

二月の新人大会、五月の府民体育祭にそれぞれ優勝した。また全国大会予選で春日丘、布施、樟蔭、鳳を破り大阪府代表として全国大会に進んだが一回戦で惜しくも破れた。

さらに、さる七月二日、難波府立体育館で開かれた日韓親善交歓試合に出場したが、大柄で積極的に試合を進めていく韓国側におされ、30対66で完敗した。「何しろ観客が多く日頃の実力の半分も出せずじまいでした」とは、三宅キャップテンの弁。尚、戦績は次のとおり。

▽府民体育祭
準決勝　桜塚42—29東住吉
決　勝　桜塚43—29鳳

▽全国大会最終予選
桜塚39—10春日丘
決勝リーグ
桜塚41—26布施
桜塚47—33樟蔭
桜塚47—44鳳

▽日韓親善交歓試合
桜塚30—66韓国
全国大会、親善試合に破れたとはいえ、目覚ましい活躍ぶりは桜塚のクラブ中でも光った存在である。

住めば都

村上てふ子（旧菅原）

丁度米沢に住みついて五年目、京都を引き上げる時には、母は泣き、兄には「まるで南極へでも行く覚悟だね」と云われ、本当に遠い遠い地の果てにでも行く様な気持で来たものですが、ここも住めば都！大変暮よい所です。都会に見られぬ四季の移り変り、春は桜をはじめ、リンゴ、サクランボ、梨、桃、杏などが花々は咲き揃い、山へ入れば、ワラビ、ゼンマイの他山菜が取れ、カッコウの声が一日中のどかにひびいています。夏は矢張り日中は暑いですが、夕方から温度は下りひぐらしの鳴き声が聞こえ、涼しくなります。秋の山々の紅葉は美しく、特産の洋梨も実り、家族揃ってサイクリングに行けば、丁度よい距離に山の温景があちこちにあり、一日のんびり湯に入り又山に登ってキノコを取ります。一番難物の冬も私達雪の珍しい者には、面白い方が先に立ち吹雪の凄さも苦になりません。私達は「東京からわざわざ何千円もかけてスキーに来るのだもの物体ない」といって、子供と一緒にスキーに興じます。「旅の人」と土地の人々は他所からきた人をよびますが、旅の人の気安さ、暮から正月にかけて蔵王に一家で行くときの楽しみは格別です。晴れ上った空に狂大に広がる雪山を眺めて「ああ美しい、来てよかった」とカナカナとものわびしげな鳴き声とともに八時を過ぎる頃には窓を閉めるくらいです。又秋の山々の

私共は、卒業と同時に戦争の混乱の中にまき込まれて、ちりぢりになり、なつかしく思い出しても今何処にいらっしゃるか、わからない方が多うございますが、世の中も落ちつき社会も又、人生の半ばを過ぎて、やっと子供からも開放されはじめまして、今更乍ら、皆様の消息が伺いたくなってまいります。

佐々木先生、宇野先生、丹下先生、浜中先生、山口先生等の諸先生は如何おすごしでしょうか、御多幸を祈り致しております。

想い

高七期　安達良子

学窓を巣立って十余年、何と短かく、そしてあわただしい年月だったのでしょう。

それぞれに我が道を歩み出しましたものの、多くの友へ方々は、家庭に入られて家事に育児と無我夢中の日々だったと云っても過言でないと思います。忙しさから解放されて、ゆとりが出て来ますと、皆様方の消息が気になって参ります。幸いにして、地元におりますと、母校の名声を耳に致しますし、旧師、旧友にも出会いまして、慰められた間柄の事、学生時代を共に送った、多くの友へのつきない思い出が一杯で、懐しさも一しおなのです。

皆様方も、落着かれた頃かと存じます。この折に、高女七期生としての、横の連帯りを保ち、強く結ばれますならば、どんなに素晴しいことかと思います。そして、来年の十五周年を、盛大に迎えたいものと、ひたすら願っております。

皆様お元気？

高一期　萩森芙美子

高一期の皆様お元気ですか。先日、同窓会に誘われて、卒業以来十何年ぶりに母校を訪れました。相変わらず、緑の庭は美しくはてしない青春の夢を描いていた校下髪の頃の私を、懐かしく想い出しました。あばれまわって先生ににらまれていた頃の私、試験地獄に、頭痛鉢巻きだった頃の私、登校途中に会う人に、挨拶をもとめられて顔を赤らめていた頃の私。それからそれへとうがってい く思い出に、私はしばらく浸っておりました。思い出っていもんです。私はそれを求めて人に振り返ってみる気になったのかもわかりません。それと同期生に母校を訪れてみる気になったのかたにお会いできるかもしれない、という楽みも託して。

同期の方といえば、その日はた った三人で、とても淋しい思いをいたしました。私は、西宮北口から曇中に、昨年移転しました学校を巣立って十余年、夢の一様に過ぎてしまいました。母校にもすっかり御無沙汰しておりますが、折にふれ、なつかしく思い出しては、一期生の皆様方、どうしていらっしゃるかしらとお便びしております。

私は、主人の職業柄（農林中金職員）転々といたしまして、今年の五月より東京に住んでおります。今迄、大阪をやり出しに、和歌山、鹿児島、高知、京都と住所をかえました。方々を見物出来て、よい事もございますが、度々転居させられる子供達がかわいそうです。子供は、中学一年、小学六年、幼稚園に三人、女の子ばかりで、のびのびと健康に育ち、平凡乍ら幸福な日々を送っております。今迄に悲しかった事と言えば、鹿児島時代、母を亡くし死に目にも会えなかった事で、これも転勤の多い身の辛さでございましょう。京都では、関美穂子様（旧姓山本様）と お近くで、よく市場の行き帰りなどにばったり会い、立話しを楽しんだもので、お友達が近くにいらっしゃるというだけで、嬉しゆうございましたが、東京には、どなたかどちらにおいでになりますか。ぜひお伺いして旧友を暖めたいものでございます。私は農家

若い世代へ

定九期　杉本和子

卒業して早や二年余り年月の流れの速さに今更の様に驚かずにはいられない。学生時代を振り返ってみるに、ただただ懐しいの一言につきる。

私達定時制の学生にとっては、社会人としては半人前、残りの半人前が学生という特異的な存在でともかく在学時代は、社会のいろいろな矛盾や不合理に対しても、学生という存在で、対抗して行け、また、十分カバーされていたわけだが、孤立した一社会人となって痛切に感じたのは、それらの諸問題に対抗して行くには、個々の力が余りにも弱すぎるということである。

最近、若い人たちの間では、グループ活動が各地で活発に行なわれ、盛んに意見の交換や、親睦を計るための集会などが催されているが、それ等の会合に参加し、共に明日の世界について話し合う仲間達が、まだまだ少ないことは残念なことである。

マスコミが喧しく、所得倍増旋風が吹きまくるテケダンスな社会情勢の波に、私達若人の純粋な気持が押流されてしまって良いのだろうか。今、私達には次の世代を背負う新しい自覚が必要なのだ。我等働く者の仲間が、一致団結して恒久平和への道を切り開くこと、それは、私達若い世代に与えられた最高の課題ではないだろうか。

人類の全ての人が願っている戦争のない平和な暮し、幾百幾千万の世界の人々が、死の灰の恐怖に叫び続けているのである。

働く者の世界を築くために、働く者の幸せを勝ち取るために、グループ活動に積極的に参加し、世界中の我等の仲間と手を取合って恒久平和への道を一日も早く確立すること、それは私の唯一の願いであり、理想である。

目の見えない生徒と共に

盲学校に勤めて二年間

高三期　有井幹三

昨年以来、兵庫県立盲学校に奉職しておりますが皆様方に盲学校というものを知り、理解していただく意味において様子を書き綴ります。生徒数は小学部、中学部、高等部を合せて二〇〇人、全盲者にまもって八五名の弱視者がいます。教室では一般学校と異う点として板書が一切なされず触覚、聴覚によって生徒の感情「興味関心」と種性「必要性の自覚」にうったえ自発学習に導くと共に、理追求の科学的精神の涵養に務めています。しかし学習が抽象的、観念的におちいり易いので常に実践的かつ創造的であるよう努め、生徒の自主自立の精神、協調の必要を体得させて社会性の育成を第一としています。文字は殆んどが点字で手触が極めて発達し我々が活字を読む如く流暢に読書しますし速記四様です「五十音を書くのに三〇秒」その上記憶力が実に旺盛で複雑な計算も頭の中で片付けてしまうほどです。また勘がするどく、話し声を聞いただけでその人の年令がわかり、部屋に足を踏み入れただけでその部屋の広さを知ることが可能なのです。従って生徒同志衝突することは殆んどありません。清掃も自身で行い診観者に美しいとほめられるほどていねいにやっています。これは目失われた結果他の感覚の補償が行われるというより新しい知覚体系が構成されたという方がよいと思います。でですから中途失明の者は幾分勘が悪いようです。一方スポーツ熱も盛んで放送競取は勿論、フォークダンス、卓球、野球なども手がけています。ただ卓球はピンポン球の中に小石を2・3コ入れて音の出るようにしこれを卓球台に転がして打ち合いをするものであり、野球もバレーボールをプレート（ホームより十二メーターの距離にある）より転がしこれをバットで打って走るのですが、走者が塁を得るのも控手が投球するのも手を打つ音だけでなければいけません。時々職員と対抗試合をしますが生徒が勝ます。又余暇はラジオ、録音テープを聞き、ラジオを使って有線連絡での話し合い、或いはコーラスなど音を楽しむ生活をしています。盲人といえば暗い、陰鬱な感じがなぜ、ないなどと考えられがちですが、本校ではそれも少く、身体的、精神的状態は視が全除いて普通の人と変わりないと考えています。その他、本校における学習ぶりや生活のありのままを一般の人達に直接御覧いただくことを我々職員も生徒も望んでおりますので御来神の節はぜひお立寄りください。

忙しい中でも一度は昔を振返り

定時制一期　奥村宇平

長らく学校を御無沙汰した私は今更総会などと、思い出まるのだ。

「……」った。学校は出たが、其の万分の一でも昔様の為に報いる事が出来汗が一度に引くような気がする。雄大な白馬のスロープが目の前に迫って、頂上がはるか遠く高い。今迄暑い思いをして登ってきたのが嘘のように思えるほどひんやりと涼しい。あんなに高く迄登れるだろうか。先にきた人達はもう雪渓を登り始めていて黒い点々となってみえる。

雲が山をすぎる度にそこだけ暗い影を雪渓の上に映してゆき、薄いガスが急に晴れると、大雪渓の白さと山肌の色がくっきりと現われ、標高二九三三メ の貫録は充分である。だがあまりに美しく整っているのでなんだか山だという実感が湧いてこない。

山と山が私達に解らないような言葉で呼び合っているように思えるので、なんだか山の中腹に向ってオーイ、オーイと叫びたいような衝動にかられる。

休んでいる私達の目の前を男性パーティがアイゼンの音も軽やかにサクサク登り初めている。

小休止の後、各班に分れて出発の用意をする。初めてアイゼンをつけて、サングラスと軍手の用意をし、雪渓へ第一歩を踏みしめる。さすがに途中の登りは苦しかったけれど、皆で食べたパイ缶の美味しかったことは格別だった。

頂上近く白馬山荘の見え出す頃になると、今までの緊張した気持が一度に消えてしまって、ウルプ草やハクサンイチゴの群生する花畠の中へリュックもなにも投げ出してしまって大の字になって寝ころびたいとどれほど思ったことだったろう。

山の想い出はつきない。機会があればどんな無理をしてでもいいから行きたいと思う。

これからも是非このような催しを

全日制十四期　秋山順子

私は尚和会の会員になってから半年になりますが、大学生活を楽しく思う一方、高校時代が非常になつかしく思われます。そんな時、開かれた総会でしたから、大変嬉しく思って、なつかしい学校へ急きました。でも、残念な事に私の予想に反して、少しの人しか集まられず、意外でした。ところで、私は現在思い通りの大学生活を楽しんでおります。というのは、高校の時からお預けにしておいた色々の計画……旅行（友達六人での信州旅行）やアルバイト……も実現しすばらしい毎日を送っています。又、学校での生活は、最初、共学から急に女子ばかりの中に入って、つまらない様に思われましたが、かえって、女子ばかりの中で自由な雰囲気を味わっております。でも、時々女子ばかりの雰囲気にとじこもる様に思われることがあります。こんな時に、高校時代が最もなつかしく思われるのですが、今度催されたダンスパーティなどは、私がダンス出来たらなどと思います。私と同じ大学の先輩などは、非常にこのパーティを楽しまれたと聞きました。本当にダンスパーティなどは、友交を深める上に役立つものと思います。これからも是非この様な催しを続けていただきたいと思います。

「奥様落第生」

高女八期　岡崎ひな子

私の家は、主人と私六才の女の子と お手伝いさん、それから夫が二匹に猫が二匹、家長たるもの、夫々の飼だけにまずは武者震いが出はぐるという雑居家族です。娘に「どうしてお母さんお仕事に出かけるの？」と聞かれると身を切られる思いがするんですが、子供は一向に平気で「教子ちゃんちのお母さんだって、清子ちゃんのママだってお家にいるよ、どうして英子のお母さんだけいないの」と、情容赦なくしめあげられる。実は好きで始めたアナウンサー稼業、子供がでさて手がかからなくなると、またそろそろ商売が恋しく、口がかかると渡りに船、再び外出勝ちになってしまった。収入は大して無いが制作スタッフに加わって何か責任ある仕事をしているという創造の喜びが大きく、子供に恨み言を言われても仕事を投げうつ、ふんぎりがつかない。大事な母としての務めが疎かになりがちで、委員の方々の御努力にむくいる上にも、もっと多勢の方が、参加していただきたいと思います。多くの方が参加すればするほど友交を深め、かつ総会への関心が強まっていくものと思います。

十七年ぶりに校舎との対面

高女五期　丸井百々子

終戦の年に卒業し、その後の混乱期をどうにか過し、結婚、育児とあわただしく暮してきました。

二人の女の子を小学校、幼稚園と行くようになって少し余裕が出てきますと、急に母校がなつかしくてなつかしくて、たまらなくなり今年になって初めて子供を連れ同窓会総会に出席させて戴きました。駅から学校までの道も、昔と比べて随分と発展しておりましたが、やはりおもかげが残っているように感じられて、あっちを見たり、こっちを見たりしながら歩きました。

ああ、実に十七年振りに校舎との対面でした。鳳凰苑も鳳鑾苑にたたずんで、昔の学生気分を思い出し味わってみたものでした。

十七年もたてば当然のことですが、当時校舎や庭園が完成されたばかりでしたので、とても美しく感じました。恵まれない学生生活でしたが、そのことだけでも幸せだったと今になって思われます。

講堂でのダンスパーティ。三、四組の方が上手におどられて感じはよかったのですが、もっと多くの人達が参加されやすいような状態にもっていかれたらと思いました。おどりたい気持はあっても、却々勇気のいる事でしょうから。

名称作成に当り、折り下さった方々、有難度うございました。真を めくっていきますと、なつかしい人達のお名前、お顔が次々と目に浮かび、住所をみて居りますと、交通の電話の発達した今日との頃のこと故とても身近に感じられ嬉しく存じました。

学生時、細くて体の弱かった私も、現在はとても丈夫になって居ります。

では又の機会に、感じましたことをつたなく書き並べまして失礼致します。

苦言

全日制九期　青井幸久

尚和会会員の多くの方は、愛校心に欠けているように思う。

この会報にしても、一皆して机の端に投げ出しておくのが関の山で、編集の人達が自分の貴重な時間を会の為に費やして、いかに苦労して作り上げたかと言う事を考えて見た人が、いったい幾人いるだろうか。貴男（女）にとっては小さい紙切れにすぎないかもしれないが、これを作った人にとっては、非常に苦労の結晶なのだ。

今一度、この会報を読みなおして、自分が尚和会の会員である事を再認識して、何もかも役員だけにまかせっぱなしにせず、お互に知っている会員の消息や出来事をこの会報を通じて知らせ合い、又年一回の総会には、万事を繰り合わせて母校を訪れ、恩師と久方ぶりの対面を懐しむのが、日頃御無沙汰をしている我々の恩返しではないだろうか、来年は、いや、毎年の五月の第三日曜を忘れないように（自分の誕生日を忘れても）必ず出席して旧友を暖め、広い講堂を一杯にして、役員に感鳴をあげさせようではないか。

会員の愛校心を信じて苦言をかく。

しずくの中に

防空服姿の卒業式を回想

高女四期　富樫弥生

六甲の山の端にゆるやかに日が沈む、夢のような夕映、打水された清々しい緑先にふとたたずんだ、笹の葉のしずくにうつった過去 去った遠い思い出。昭和十五年皇紀二千六百年思えば大日本帝国の一番華やかな良き時代だった。

此の年、私は憧れの府立豊中高等女学校に入学した、静かな良き環境の地に新設され家からも徒歩通学に丁度良い距離だった。ライトグリーンにエンジの瓦の校舎、広大な庭園、グラウンド、伸々と明るく其の上に堅実なタイプの学校だった。学業に運動に楽しい学生時代を送ったのも一年生の時のみだった。二年生の中頃に大東亜戦争の渦に巻込まれた。二年、三年、四年の間学業半分に勤労奉仕、農園、防空演習の日々だった。

五年になると学徒から学徒動員で重需工場へ働きに行った。カーキ色の戦闘帽に厚い防空頭巾をかぶり黒の防空服、ズボン「学徒動員」の腕章、雑嚢を交互にかけてりりしいいでたちで皆張り切っていた。工場で作っているものが何であるか軍の秘密で知らなかった。三月始めに卒業式が行なわれた。防空服ズボン姿だった。

卒業証書だけは戴いたが勿論修学旅行、茶話会、思い出のアルバム等無かった。段々空襲がはげしくなり睡眠不足、栄養不良の体に鞭打ちながら但日本が勝つ迄はと離もが精神力で体を保っていた空襲のため阪急電車がストップして岡町から大阪まで毎日歩いて工場へ通った。今思い出しても良く頑張ったものだとつくづく思う。敗戦敵軍の進駐、闇市場と不安な毎日が続いた。このようにして私達は不幸な青春時代を送った。卒業してから早十七年、世の中はすっかり変り何と平和な良い時代になったことであろう。若人は其の青春を思うぞんぶん楽しんでいる。「夢よ、もう一度」と心の中で叫びたくなる。笹の葉のしずくがぽとり…夕闇せまり明りがともった。風鈴の心良い音にふと我に返った。「ママ散歩しましょう」と次男がお風呂上りの清々しい顔を見せた。子供等と手をつなぐ長閑に出た。美しい星空にかかる天の川を眺めながら「笹の葉サラサラ軒場にゆれる、お星さまキラキラ金銀砂ご」皆で口ずさんだ。長男は小学五年、長女は小学二年、次男は幼園とそれぞれ勉学に運動に平穏な日々を送っている。学校や憲風苑で思いがけぬ同期生や同窓生の方にお逢いする事があるが懐かしさで一ぱいになりついお話がはずむことがある。この三、四年来同期生会にも出席するようになり楽しみが益した。いついつ迄も変りなく続けられるように祈って念を迎えられた。早いものだ…

一度母校を訪れたいと思いつつ何とも疎遠なことであろう近いうちにぜひ訪れたく楽しみにしている。最期に恩師、同窓の皆々様がたの御多幸と尚和会の発展を心より祈っております。

白馬登行記

うまかったパイカンの味

高十一期　小林圭子

仕事が一段落ついてほっとすると自分を取り戻す。窓越に見える夏の空は都心だと思えないほど青くまぶしく、私の心を遠くへ誘う。今頃の白馬は高山植物の満開時だろう。コバイケイソウは私達が山を降りる時にはまだ蕾のままだったからもうグリーム色の可愛い花を咲かせているにちがいない。知らない植物の前にくると名前を教えてもらって順番に後の人へ伝えてゆく。途中で変な名前に変ってしまって、お腹の皮がよじれるくらい大笑いしたのを憶えている。

寝倉の小屋から出発して、待望の大雪渓まで辿りつくと、さすがに汗が一度に引くような気がする。雄大な白馬のスロープが目の前に迫って、頂上がはるか遠く高い。今迄暑い思いをして登ってきたのが嘘のように思えるほどひんやりと涼しい。あんなに高く迄登れるだろうか。先にきた人達はもう雪渓を登り始めていて黒い点々となってみえる。

雲が山をすぎる度にそこだけ暗い影を雪渓の上に映してゆき、薄いガスが急に晴れると、大雪渓の白さと山肌の色がくっきりと現われ、標高二九三三メ の貫録は充分である。だがあまりに美しく整っているのでなんだか山だという実感が湧いてこない。

山と山が私達に解らないような言葉で呼び合っているように思えるので、なんだか山の中腹に向ってオーイ、オーイと叫びたいような衝動にかられる。

休んでいる私達の目の前を男性パーティがアイゼンの音も軽やかにサクサク登り初めている。

小休止の後、各班に分れて出発の用意をする。初めてアイゼンをつけて、サングラスと軍手の用意をし、雪渓へ第一歩を踏みしめる。さすがに途中の登りは苦しかったけれど、皆で食べたパイ缶の美味しかったことは格別だった。

頂近く白馬山荘の見え出す頃になると、今までの緊張した気持が一度に消えてしまって、ウルプ草やハクサンイチゴの群生する花畠の中へリュックもなにも投げ出してしまって大の字になって寝ころびたいとどれほど思ったことだったろう。

山の想い出はつきない。機会があればどんな無理をしてでもいいから行きたいと思う。

伝言板

▼高女一期の皆様に

去年は幹事の方の都合でとびましたが、幹事の野口初子さん（日榎谷）島岡さんの二人でお世話になって下さいまして、七月二十二日宝塚の和楽荘に催されました。当日は恩師、竹谷、浜中両先生がお見えしてりっぱにお眼をとっていらしたのに、例年のメンバーに欠らい方々も加わり楽しいひとときを過されました。活題も、もっぱら、子供の教育入試に関連した話に花を咲かせ、最後にこれ以上年をとりたくない。と困った要求を出すやら、私達卒業旅行も満足に出来なかった学生生活を思い出す意味で、一泊旅行の同期会をもちたいとの話し発展し、これこそ実行するとの意気ごみだったらしいです。来年度は、旧姓田鶴子さんと、永井聡子さんの御一人に楽しい期会を希望しまして、皆様の多数御出席を心から御願い致します。

（高女一期　塚田京子）

▼私の卒業年度は昭和二十四年（高一期）でございます。勤務先は大阪府警察本部総務部広報課広報第一係です。警察施設（通信司令室、鑑識等）見学、又、社会的な行事で「音楽隊出張演奏」などのご希望ある時は、どうぞご用命下さい。

電話　大阪九四一、一七八一番

（大阪府警察本部広報課）

住所大阪市旭区北清水町一四九

（高一期　田村夢喜子）

▼このたび名簿発行委員会は三十七年五月現在で、会員名簿を発行しました。

主婦の雑感

高女五期　長友松子

今年の梅雨は全く晴間のない薄暗いような日々の連続でございます。六月の末、在京の五期生の集りをいたしましたが、我々位の年代になると、乳児から手のはなれた方が多いので、お天気がよくて洗濯物が困る話はあまりなく、専ら子供の教育についての話、子供達も手をはなれて一寸自分の時間をもつことが出来てきて手芸をしている人、帽子を作っている人等々、専ら趣味と実益を一寸加味した方にむかって進んでいらっしゃるようにおゆうけいたしました。

なにか一つの目標をもって進むとか、自分の一生の支えと言っては大げさになってしまいますが、そういう感じのものが持ったらどんなに良いでしょうと、思います。

ここに"美"が

高十三期　坂本禎子

人は誰でも美を愛する心を持っている。私もその例にもれず、幼い時からあらゆる物のうちに美を求め、それを愛し続けてきました。若草の上に寝ころんで流れゆく白雲に心を引かれた日々、或は雨上りのしっとりした景色の限りない深いおうぎ色に我を忘れた日々、又私の美に対する心は文学の方にも強く引きつけられた。例えば"風立ちぬいざ生きめや"の言葉に象徴される、堀辰雄の作品の中に流れる美、そして、今もなお厳しく純粋な美の頂点としてサの苦悩に満ちた姿である。又、私は日毎に暑さが増すにつれて、去年の夏訪れたあの雄大な日本アルプスの姿を思い出す。私達をその偉大なるふところにつつんだアルプスの、世のけがれという物を知らない様な神秘なきびしい美しさ、又、私は自然の中に、自然と人間のすばらしい調和美を発見したこのアルプスや、今年の春訪れた小豆島や四国路の旅に於て、一例を上げると、都会を離れて静かな山村を訪れ、恵まれた自然の環境を賞えながら行きすぎる人々をながめた時、決してせいたくな服装ではないが、その風景の中にしっくりと調和しておりついた美しさを示している事を発見した。意敬の民芸館を訪れた時、奇蹟の様に美しい民像の作品に感嘆するばかりでした。見るという事も実は美の創作であると思う。私は今聖心女子大の二年に在学中であるが、この大学はカトリック系の大学で、真善美の香り高く少数の学生が二つの大きな純粋な愛によって結ばれている。丁度大家族の様な暖かさのある大学である。この大学へ入学出来た事が、私とカトリック精神との出会となったのです。そして、このカトリックの中にも、また偉大な最高の美を見いだす事が出来た。それは、たとえば儀式の一つである。御ミサの中に、あるいは、グレゴリアン聖歌の一節に、そしてカトリックの根本である愛＝純粋な愛の中に。この純粋な愛こそ、人が幸福になるためには必要であり、それは、人々各々の胸の中に不朽の美の映像を残してくれる。評論家である矢饗道子さんは、「私が何にも増してカトリシズムを愛するのは、それが主を愛し続ける勇気を、ひとすじの糸にも似て、綿々と与え続けてくれるからである」と言う意味の事を言っておられるが、私もこの御言葉に心から同意致のうちに、自分より高い物を求め、愛し続けようとしている、その一つが芸術に現われている精神である。美しき物は、善き物を絶対に侵してはならない。善に於てこそ、真と美は調和し、カトリックの中に見い出した美こそ全ての美の源の様なものである。美を追求し善を求めるところに、新しい生命力と満ちたりた輝きがあると思う。

踊れない人にも何かおもしろいものを

高十四期　小西　喬

私はこれまで、ダンスパーティなるものを見たことがありませんでしたので、今度の総会通知で、ダンスパーティの件を見て大変興味を覚えました。それに今私は関西大学の軽音楽部（トランペットを吹いています）に入っておりジャズが大変好きなので、その時のバンド演奏にも興味がありましたので、総会に参加しました。

ダンスパーティで感じたことを申しますと。

一昨年以降の卒業生

▼大阪大学　前川朋子▼大阪府立大学　後久忠雄▼日本大学　笹気幸縫　多田淳▼小川達郎、越智誠、長尾直也、松本誠三（以上法）杉山昭（社）福田馨（経）谷口忠男（経）▼関西大学　岡松宏、城屋英昭、田中勝、中川真博（以上法）岸本和真（経）北英隆（商）木下信紀（工）姫野繁春（商）西本朗生▼桃山学院大学　江並武、小蟹英夫▼大阪商科大学　大道敏▼甲南大学　各務正平▼近畿大学　新保宏志　大東武士▼大阪経済大学　西田英行

就職先（全日制）

▼寿屋　井沢宏夫▼三和銀行　川澄直和、児山雅英、大内安子、奥野公子、杉山照代、仲井智恵子、中西清子、藤田和子、藤田洋子、矢田登志子、森洋子▼満鉄商会　徳永宣征▼藤本産業　弘田善▼武田薬品　安村吉弘、細谷ソヤ子▼東洋レーヨン　麻野了与、佐々木桂子▼野田醤油　犬伏紀代子▼住友信託銀行　加藤寿美子、熊谷峰子、竹沢トシ▼住友金属　岡本淳子▼江戸川化学工業　小川澄子▼住友電気工業　岸本治子▼住友銀行　木谷藤枝、木村静子、八幡節子、正源房子、水口恵子、戸上孝子、田中富美子、西村桂子、橋本英二子▼近畿電気工業　木下ユリ▼住友生命　葛原晃子、潮中久美子、広瀬泰子、籠ヒデ子、畑中恵子、山手和子▼高浅金物　佐藤邦子▼大日本製薬　自生司公子▼日本生命　越宗敏子、高田美和子▼野村証券　出口容子　斉藤晨世子▼大日本塗料　辻永子▼日綿実業　高淵寿子▼日本勧業　辰巳育子▼日本長期信用銀行　谷口直子▼豊和信用組合　福盛都▼池田銀行　藤井正子▼鐘淵化学工業　長谷川道代▼三井物産　堀尾光子▼都築紡績　油谷恵子▼東亜弧油　渡舟礼子▼東洋綿花　吉田邦子

進学先（定時制）

▼日本大学　上林廷浩▼大阪通短大学　川合栄次郎▼近畿大学　名越紀男▼関西経理専門学校　藤井真寿子▼大阪音楽大学　山田佳子

（全日制）

▼大阪大学　内田満夫（理）青木真子（薬）笠松恵子（文）白土陽子（薬）▼神戸大学　岩城聖子（教）上村春枝（文）狭尾敦子（英文）古川待子（文）▼大阪市立大学　倉谷聡子（家）桜井桂（家）高田昭子（家）竹内美智子、小柳典子▼大阪府立女子大学　梶恵子（社）近藤朋子（生）桜井毅子（国）富田加代子、土佐田信子▼神戸女学院大学　秋山順子、秋山勝子、岡田幸子、尾崎洋子、神戸一子、川原美耶子、黒川明江、筒井紀子、松田弘子、古田禎子、光谷寄美子（以上文）満口公子、片野紀美子　広瀬佐代、竹村時子（音）▼関西学院大学、竹村時子、相原章男、千葉士郎（以上経）大野博、隅田栄亮、葛野聖子（以上社）仲野隆雄、南伸行（以上商）布施雅義（二部法）宇佐田佐子、小田敏子、本山洋子、大久保美和子、亀井久代、久富礼子、佐藤由紀子、高木紘子（以上文）鶴巻鶴子（ドイツ語）▼関西大学中原洋一、矢野明寛、若林義、小西薗（以上法）中西勝（文）黒田正宏（法）秀明、橋本貴士、村野充、吉田保之（経）野添実、三宅国雄、馬淵発夜（以上工）万年彰（商）▼甲南大学中尾昌弘、橋本清之、古川昇、松田雄二郎、淵田武司（以上法）西村隆夫（経）保田忠信（商）森野克也、石川憲子、有木喜久子、松尾順子、浦谷保子（以上文）東建吾、油井康祐、有山孝、奥内康弘、神社徳彦、田積保夫（以上法）石田隆（理）小池秀明（経）後藤正勝▼同志社大学　木村智則、四条建彦、赤松順子、前田紘子（以上文）中西幸道（商）三住勉（法）野田節子（英文）吉永誉、片野紀美子、広瀬佐代▼立命館大学　天簡啓之、生越義弘、井上茂、木下清昭、辻康一、高田昌幸、西村昭二、松坂良男、山本和夫、保田聡子、自見紀子▼聖心女子大学　池田照子、小川由紀子、加来桃子、小林靖子、二木房子、松原宏江、水嶋瑛子、美濃靖子、山田晶子▼京都薬科大学＝阿部悦子、大重光、橋本由紀子、中村泰三▼大阪薬科大学＝前田真佐子▼武庫川女子大学＝赤賀節子、竹島文代、村田祥子（以上被）池田誠子、岡和美、越智智子、松井美美代、渡辺佳子（以上家）菅野康子、福島勝子、森田ほまる（以上英）辻本幸子（薬）北村理子、上田弘子、金谷栄子中村文江、吉川朗子、松尾聴美▼早稲田大学、阿部恒久（法）▼明治大学、伊藤攀義（文）桑原正勝（経営）▼大阪工業大学、明城精男（二部）伊原正行、鳥取俊之、稲葉徹夫、邦須裕、奈倉武▼京都府立女子短大、入江匠子、中之寺千恵子、滝川順子、中村福子、羽鳥晃江▼樟蔭女子大学　上崎節子、泉潤子、藤井節子、遠木允子、永井時枝、吉村玲子▼帝塚山短大　泉雅子、玉井倭子、武藤輝子、山本操子▼神奈川大学　榎本誠一▼大阪電通大学　木村和也、北田亘宏、毅邦靖男、佐々木厚一、多田勲、中井保▼大阪経済大学　岡田正則、野田淳一、山形輝三、西山淳子▼日本大学　中務忠（芸能）福田暁浩（理工）▼桃山学院大学青木皐、伊藤明弘、越亜進一、重野一一▼兵庫農大細川延英▼昭和薬大前武　等▼金沢大学　安田忠昭（物理）▼日本体育大学　渡辺恵之▼九州産業科大学　渡辺輝雄▼大阪電通短大　渡辺克一▼神戸女子薬科大学　大倉喬子、大崎恵子、広瀬俊子、三宅加寿子▼奈良県立医大　小川智世子▼成城大学越智章子▼宮屋女子短大　後藤恵子▼兵庫栄養専門学校　郷幸子、田口栄津子▼海星女子大　後藤千恵子▼奈良学園大　水戸映子▼青山学院女子短大　千田洋子

ふえた女子進学者

やはり多い住友系

今年の進学就職状況

前田紘子（以上文）中西幸道（商）松尾聴美▼早稲田大学、阿部恒久（法）▼明治大学、伊藤攀義（文）桑原正勝（経営）▼大阪工業大学、明城精男（二部）伊原正行、鳥取俊之、稲葉徹夫、邦須裕、奈倉武▼京都府立女子短大、入江匠子、中之寺千恵子、滝川順子、中村福子、羽鳥晃江▼樟蔭女子大学　上崎節子、泉潤子、藤井節子、遠木允子、永井時枝、吉村玲子▼帝塚山短大　泉雅子、玉井倭子、武藤輝子、山本操子▼神奈川大学　榎本誠一▼大阪電通大学　木村和也、北田亘宏、毅邦靖男、佐々木厚一、多田勲、中井保▼大阪経済大学　岡田正則、野田淳一、山形輝三、西山淳子▼日本大学　中務忠（芸能）福田暁浩（理工）▼桃山学院大学青木皐、伊藤明弘、越亜進一、重野一、金谷栄子中村文江、吉川朗子、